ごあいさつ（30 周年にあたり）

札幌少年ラグビースクール校長
横山　良伸

札幌少年ラグビースクールは、今年で発足３０年を迎える事になりました。
昭和５６年発会以来、多くの方々のおかげでこの日を迎える事ができました。
この場を借りてお礼申し上げたいと思います。ご協力ありがとうございました。
私が前任の岩隈先生のあとを引きついで、当スクールの校長になったのは、平成１５年からです。大学時代にお世話になった北海道協会メディカル担当の林先生から「札幌のラグビースクールで医師を捜しているので先生手伝ってあげてくれないか？」と電話があり、スクールの校医を捜しているんだという軽い気持ちでいたのですが、工藤夫妻がみえられた際、来年から校長になってもらいたいといわれた時にびっくりしたことを思い出します。
結局、少しでもラグビーの楽しさを伝えるお手伝いができるならと校長兼校医を引き受ける事にしました。スクールのみんなには、ラグビーの技術だけを習うのではなく、練習、試合、合宿などを通じて、みんなで協力して一つの目標を達成するすばらしさ、人の事を思いやるやさしさなどを学び取ってもらいたいと思います。
毎年、卒業生を送り出してきましたが、高校、大学、社会人になってもラグビーを続けている卒業生がいるのは大変喜ばしく思います。さらに今後、卒業生のこどもたちが入校してくれるのではと楽しみにしています。
最近は、ワールドカップの日本開催決定、リオデジャネイロオリンピックでのセブンスの導入とラグビー人気の復活が期待されるニュースが続いており、競技人口の増加も考えられます。そのときにラグビーをやってみたいと思う子供たちのために、ラグビーをプレーするための場所を提供することこそ、札幌少年ラグビースクールに与えられた使命ではと考えております。
今後、さらにスクールが発展していくよう、私たちは努力してゆく所存でありますので、皆様の変わらざる御支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。